

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	王禅寺余熱利用市民施設	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 株式会社明治スポーツプラザ ・代表者名 石原 良太郎 ・住所 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館5階	評価者	減量推進課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成23年度は、隣接している処理センターの建設工事によりプールを約4ヶ月休館したため、プール利用者は約4万人減少した。また、これに伴う休館の影響の無かったトレーニングルームでは利用者が6,460人増加したほか、老人休養施設でも7,490人増加した。1日当たり利用者数については、プール及び老人休養施設共に平成22年度を上回っている。(王禅寺余熱利用市民施設別紙資料参照)
収支実績	収入については、平成22年度と比べ、プールの開館日数が減少したため、利用料金収入、スポーツ・教養事業収入等が落込み、約1,400万円の収入減になった。支出については、年間を通じた節電等により平成22年度と比べ光熱水費を1300万円縮減したものの、維持保守管理費等の増額により、全体としては約200万円の増額となった。収支差額は平成22年度に比べ約1600万円減の約1,600万円となり、引き続き黒字を確保した。(王禅寺余熱利用市民施設別紙資料参照)
サービス向上の取組	利用者が増加傾向にある子ども水泳教室の増設や、成人を対象としたいきがい講座・健康相談会・体力測定会などを実施したほか、プールの休館中には館内の壁を塗装するなど利用者が快適に利用できる環境の整備に努め、休館明けにプールの無料イベントを開催するなど、利用者サービス向上の取り組みを行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。	8	3	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 利用者の要望を常に収集できるようアンケート箱を設置することにより声を集約し、毎日のミーティングの議題とすることで現場職員へ利用者の声を還元し、日々の接客に活用するとともに、利用者に係る改善すべき事項について速やかに対応している点や、年1回モニタリング調査を実施することで利用者の声を収集・分析し、結果を踏まえた対応を行っている点は評価できる。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	4	4	3.2
適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	3	3.6	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) 収入については、平成22年度と比べ、プールの開館日数が減少したため、利用料金収入、スポーツ・教養事業収入、物販事業収入が落込み、約1,400万円の収入減となった。支出については、光熱水費を平成22年度と比べ1300万円縮減したものの、維持保守管理費等の増額により、全体としては約200万円の増額となり、収支差額は平成22年度に比べ約1600万円減の約1,600万円となった。プールが長期休館した中でも、トレーニング室のマシン増設など利用者増加の取組を行うことでほぼ計画どおりの収支を達成し、黒字を確保したことは評価できる。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	5	4	4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	5	4	4
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 利用者が増加傾向にある子ども水泳教室の増設や、成人を対象としたいきがい講座・健康相談会・体力測定会などを実施したほか、施設の利用促進への取組を図っていることは評価できる。また、プールが長期休館した際の藤工芸等の無料イベントや、施設を快適に利用できるように館内塗装や修繕を行うなど、利用者の観点からサービス向上の取組を行っている点は評価できる。また、アンケート箱に寄せられた利用者の声を翌日のミーティングの際に議題とするなど、利用者ニーズの把握、業務改善に努めている点も同様に評価できる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4	6.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。	5	4	4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3	2.4
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 責任ある職員を必ず常駐させる体制をとっているほか、CPR(心肺蘇生法)、MFA(メディックファーストエイド/応急救護手当)講習会を実施するなど利用者の安全性確保のための研修を行うとともに、資格を持った従業員を適切に配置していることや、トランシーバーの使用により連絡相談のスピード化を図るとともに、緊急マニュアルにより有事の対応ができるよう備えているなど利用者の安全に配慮した運営を行った点は評価できる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 休館日を中心に設備担当と連携し、スケジュールを組み保守管理を行うなど、利用者に配慮した管理を実施している。また、定期的な清掃だけでなく、利用者からの声があれば対応するなど適切な清掃業務を行っていた。2ヶ月に1回、近隣の大学や民間企業、警察消防と警備連絡会を行い警備業務に役立っている。					

4. 総合評価

評価点合計	71.6	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

平成23年度はプールが4ヶ月休止となったが、適切に事前周知を行ってきたことのほか、プール休止中に館内塗装や休館明けに無料イベントを行うなど、利用者の視点に立った運営を行ったことは評価できる。また、そのような状況の中でも黒字確保をしたことも評価できる。利用者が増加傾向にある子ども水泳教室の増設や、成人を対象としたいきがい講座・健康相談会・体力測定会などを実施したほか、施設の利用促進への取組を図っていることは評価できる。また、CPR(心肺蘇生法)、MFA(メディックファーストエイド/応急救護手当)講習会を実施するなど利用者の安全性確保のための研修を行うとともに、トランシーバーの使用により連絡相談のスピード化を図るとともに責任ある職員を必ず常駐させる体制を取っていることなど利用者の安全に配慮した管理運営を継続していることは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

利用者のニーズを取り入れプールや老人体養生施設の運営を行っており、市民の健康増進や福祉の向上に寄与するという施設の設置目的に沿った事業運営を引き続き実施してほしい。平成23年度は、1日当り利用者数が平成22年度を上回ったが、平成23年度に実施したいいきがい講座・健康相談会・体力測定会など、引き続き新規事業実施等のサービス向上により来場者獲得を目指してほしい。また、東日本大震災を契機として更なる安全管理体制の向上や、利用者の安心安全を確保した施設運営がより一層求められていることから、スタッフ一人ひとりの安全管理に関する一層のスキルアップ等、引き続き安心安全に関する取組みに注力してほしい。

王禅寺余熱利用市民施設別紙資料

王禅寺余熱利用市民施設開館日数

	H23 年度	H22 年度	H21 年度
温水プール	218 日※	304 日	314 日
(1 日辺り利用者)	994 人	843 人	788 人
老人休養施設	342 日	309 日	314 日
(1 日辺り利用者)	207 人	205 人	190 人
1 日辺り利用者合計	1,201 人	1,048 人	978 人
会議室、駐車場、 レクリエーションルーム	342 日	309 日	317 日

※処理センターの建替え工事に伴い H23. 11/20～H24. 3/15 までプールを長期休止

王禅寺余熱利用市民施設利用者実績

① プール

単位：人

④ トレーニング

単位：人

	H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)		H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)
大人	115,192	146,055	△30,863	146,539	20 歳以上	35,921	30,209	5,712	25,977
小人	101,571	110,242	△8,671	100,962	15～19 歳	5,263	4,515	748	4,148
合計	216,763	256,297	△39,534	247,501	合計	41,184	34,724	6,460	30,125

② 会議室

⑤ レクリエーションルーム

	H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)		H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)
件数	1,512	1,179	333	1,532	利用回数	1,323	998	325	980
人数	14,422	12,056	2,366	13,752	使用者数	18,347	17,566	781	17,484

③ 老人休養施設

単位：人

⑥ ギャラリー

	H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)		H23 年度	H22 年度	増減	H21 年度 (参考)
合計	70,726	63,236	7,490	59,514	利用日数	46	29	17	29

王禅寺余熱利用市民施設収支決算

単位：円

		H23 年度予算	H23 年度決算	H22 年度決算	増減額	増減率 (%)	H21 年度 (参考)
収入	①事業活動収入						
	指定管理料収入	137,457,522	137,457,522	133,064,000	4,393,522	3.3%	134,100,000
	利用料金収入	77,705,000	67,874,180	77,074,030	△9,199,850	△11.9%	74,525,700
	その他収入	51,361,000	78,033,262	85,812,146	△7,778,884	△9.1%	76,042,245
	②自主事業収入	4,041,000	3,779,867	5,180,180	△1,400,313	△27.0%	3,465,610
	合計①+②	270,564,522	287,144,831	301,130,356	△13,985,525	△4.6%	288,133,555
支出	③事業活動支出	270,297,720	271,410,410	269,286,577	2,123,833	0.8%	268,248,858
	④自主事業費支出	0	0	0	0		0
	合計③+④	270,297,720	271,410,410	269,286,577	2,123,833	0.8%	268,248,858
収支差額		266,802	15,734,421	31,843,779	△16,109,358	△50.6%	19,884,697